

あなたの「何かできるかな」を応援する

# プラスワンメールマガジン

★一 第83号 平成29年5月2日 一★

皆さんこんにちは。第83号のプラスワンメールマガジンをお届けします。

ふきのとうにタラの芽、たけのこ…春の“にがみ”が美味しい季節になりました。

今号では、PTA 役員でつながったご縁を活かし地域のあいさつ運動とこども教室を運営する活動と、嬉野町で青少年育成を基本にしながら郷土愛を深められるようなボランティア活動を行う団体の2つをご紹介しますと思います。

それでは、引き続きお付き合いください(\*^\_^\*)

第 | 83 | 号 | 【1】私のプラスワン

— — — ~ ~ “大人の笑顔” さいこう! ~ ~

も | く | じ | 【2】プラスワン、してみませんか?

— — — 「嬉愛会 (きあいかい)」

□ ■ □

■ □ 【1】私のプラスワン ~ ~ “大人の笑顔” さいこう! ~ ~

□

■ 農地整備課 島内利昭

□

我が家には、24歳、21歳、18歳の3人の娘がいます。すでに、長女、次女は我が家を離れ、それぞれ福岡で1人暮らし、そして、この春、3女も高校を卒業、福岡の大学に進学。四半世紀ぶりの連れ合いとの2人の生活、新婚時代とは異次元の”ドキドキ感”を感じつつ、老後に向け寄り添いながら過ごせたらと思っています。

さて、私のプラスワンのきっかけは、長女が小学校2年生のPTA父親委員から。その頃、父親委員飲み会の会費は、全て連れ合い持ち、こんなおいしいことはないと思ひ、父親委員の飲み会を皆勤した頃には、“大人の笑顔”に囲まれ、PTAから抜け出せなくなり、3女が小学校を卒業するまでの連続11年、役員を務めました。

この春、3女が小学校を卒業して6年になりますが、今では「毎週水曜日の小学校のあいさつ運動」と「月に2回の地域子ども教室」に参加する程度。

あいさつ運動は、私たちが、「校区のじーちゃん、ばーちゃん」をお願いして、平成14年にスタート。3女が卒業に合わせフェイドアウトと思っていましたが、早いもので15年が経とうとしています。ここ数年は、都合がつく日に参加するようにしていますが、出張などが重なり1ヶ月ほど欠席すると、仲良しのばーちゃんから、「あんた、病気しとった? 元気やったね?」と笑顔で聞かれ、心配させていけないと思ひ、続けています。

また、地域子ども教室は、月に2回（主に第2、4土曜日）、体操教室、料理教室、

門松・しめ縄など工作を行っています。今では、子ども達に遊んで貰っています。スタッフは、県OBさんほか異業種の集まり、反省会と称した飲み会は、笑顔に囲まれ、私の楽しみの一つになっています。

振り返ってみれば、私のプラスワンの入口、何の「ためらいも苦」もなく、今は、最年少メンバーとして、プラスワンを楽しんでいます。

“大人の笑顔” さいこう！



## 【2】プラスワン、してみませんか？

### 「嬉愛会（きあいかい）」



今回は嬉野市において、嬉野町を大好きな方々が集まり、ボランティア活動に取り組まれている「嬉愛会（きあいかい）」事務局長の山口秀一郎さんにお聞きしました。

〔★聞き手：嬉野市社会福祉協議会職員〕

★どのようなボランティア活動をされている団体ですか？

「嬉愛会」は旧嬉野町内の異業種の人達で構成されており、現在は45名の会員がいます。毎月一回の定例会を第2火曜日の19時から21時に開催しています。定例会では、会員の中から自分の仕事上の経験談等を話してもらったり、または外部から講師をお招きし、専門的な話を聞く勉強会などを行っています。昨年12月に行った定例会で、開催回数が390回目となりました。定例会以外には、毎年6月と12月の年2回、いろんな活動をされているボランティアの方々や中学生と合同清掃活動を行っています。

また、5年ごとではありますが、記念行事として会員以外の方を対象にした講演会・演奏会を実施し、地域文化の向上にも努めています。

★団体を作られたきっかけは何でしょうか？

昭和58年（1983年）に嬉野小学校のPTA役員有志や教職員等の数名で、嬉野町の子どもたちの育成に何か寄与できないかを考えました。そしていろんなボランティア活動をしていくことを目的に結成しました。現在は青少年育成を基本にしながら、郷土愛を深められる幅広い分野での活動をしています。

★どのような思いで活動をされていますか？

会員相互の研鑽を深め、時代の要求にふさわしいボランティア団体としての活動に励み、地域・文化の発展向上を目指し、嬉野町の全体的な街づくりに協力できればと思いつながり活動をしています。

★世代を超えて中学生との交流もされていますが、具体的に教えてください。

活動を始めて8年経ちましたが、年2回、中学生と一緒に清掃活動を行っています。中学生達とふれあい、対話しながらの活動は私達にとっても新鮮なものがあり、また

子ども達の郷土を愛する心を育成する一助になるものと信じて活動をしています。

★活動されて、楽しかったことを教えてください。

毎月の定例会では、いろんな異分野の話を聞くことができ、楽しい時間を過ごしています。

また、自己満足かもしれませんが、ボランティア活動が終わった後の達成感や「ありがとう」、「きれいになったね！」などと言われた時、疲れも忘れて「また頑張るぞ！」となります。

★最後にこれからの社会を担う子どもたちに一言お願いします。

他人に対する思いやりを持って欲しいです。また、最初は自分にできる簡単なことから始めて継続すること。そして、何事に対しても怒らず、恐れず、悲しまずの精神で前向きに歩いて行って欲しいです。

《お問い合わせ先》

嬉野市社会福祉協議会 電話 0954-66-9131



★これまでの『プラスワンメールマガジン』については、佐賀県ホームページをご覧ください。

<http://www.pref.saga.lg.jp/list03176.html>

★『さがCSOポータル：<http://www.cso-portal.net/>』絶賛更新中！

佐賀県で唯一のCSO情報ポータルサイトです。CSOが開催するイベント情報やボランティア情報、助成金情報などを発信しております。

★『CSO・ボランティアネット（携帯・PCメールでの有益情報）』配信中！

CSO関連の有益情報（イベント・助成金情報等）をタイムリーにメールでお届けします。まずはお気軽に「CSO@123123.tv」に空メールをお送りください。

県では、CSO関係者や県民の皆さまにとって役立つ情報を広くお知らせしていきたいと考えています！お知り合い等にもメール情報を転送して登録をお勧めいただくことで、情報の輪が広がれば幸いです。

さらに役立つ情報をお届けできるよう、皆さまからの情報提供・ご意見もお待ちしております。

（ご連絡先）

佐賀県県民協働課（kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp）



※本メールマガジンは、登録申請された方はもとより、当課職員が名刺交換の際に受信の了承をされた方々等に配信させていただいております。

また、本メールマガジンは、プラスワン活動の推進を目的として発行しておりますので、当課の事前了承（著作権使用許諾）がなく転載・転送されても結構です。

